

糸のもつれ

加藤 誓 (ちかい)

一番釣れる時間帯 いわゆる「しおどき」に仕掛け糸がもつれて 悔しいお思いを何遍もした。
何故もつれるのかは、手順を踏まず「釣ろうと功を焦っている」からである。

その仕掛け糸のもつれを船頭さんは見事に解してくれる。



① 一本の糸だけがもつれた場合

太い道糸より、針の先の細い糸のハリスがぐちゃぐちゃになることが多い。
これを解くには相当の時間が掛かる。

船頭さんは、もつれたところを切って捨て、初めから仕掛けを作り直す。



原因が自分一人だけの場合、
相手が、お客さん、友達や奥様であったりするが、
糸を解く、つまり「言い訳を言う」より、
糸を切る動作「ごめんなさい。」と頭を下げ、
最初に戻ってやり直す方が早いと教えてくれた。

② 二本の糸がもつれた場合

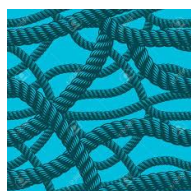
船頭さんは、先ず始めに、もつれた原因である針とおもりの仕掛けを取り除く。
次に、もつれた糸の先の方でなく もつれていない方の道糸から、はがしていく。
そして、ぐちゃぐちゃに絡まったところにくると、そのもつれた箇所を広げ始める。
10 cm程度ではない。船にあるあちこちの柱を利用し
2mも 3m も広げて もつれた箇所を見つけて ひも解いてゆくのだ。



人間関係のもつれの解決も、先ず原因となった針を横に置き、
もつれた過去からではなく、現在から解いてゆく。
相手があるのだから一本の糸の様に切ることはできない。
もつれた箇所は お互いの意見や誤解を 大きく広げることで
解決の糸口が見えてくると教えてくれた。

③ 三本の糸がもつれた場合

船頭さんは、おもりを外し ぐちゃぐちゃになった3本の糸の固まったところの全てを
海に放り込む。 潮の流れで暫くすると ある程度 もつれが解ける。
3本の糸を同時に解こうとせず、一本の糸を、集中的に先ず解く。



所謂、三角関係である。解こうとするほど、もつれるのである。
解こうとせず、まず、全てを放り投げ 時間を掛けるのだ。
そして、一人だけと解決策を探して仲良くなる。
そうすれば、もう一人ともうまくいくのではと教えてくれた。

④ 四本以上の糸のもつれ、例えば、国内の政治問題。

国際問題など七本以上の糸のもつれの場合など、

あなたが船頭さんの場合、どのように解きますか。

私は、面倒なのでそのまま、放っておきます・・・？

因みに、糸のもつれを解くのは、私は下手なので 全て 船頭さん (他人) 任せです。

